Blue Earth '10　プログラム

第1日目：2010年3月2日（火）
会場：東京海洋大学 品川キャンパス　　主催：独立行政法人 海洋研究開発機構　共催：国立大学法人 東京海洋大学

■挨拶　会場：講義棟 大講義室

■海洋研究推進委員会　　石丸　隆　　挨拶　（09:30-09:35）

■口頭発表　会場：講義棟 大講義室　　第1日目：2010年3月2日(火)09:35-16:55

S1：海洋底科学Ⅰ－海洋リソスフェア（09:35-11:05）
座長：小平　秀一（海洋研究開発機構）

BE10-01（09:35-09:50）
IFREEにおける海洋リソスフェア構造研究と科学掘削
○小平　秀一（海洋研究開発機構）他

BE10-02（09:50-10:05）
南海トラフ西縁部-日向灘-の地殻・上部マントル構造
○仲西　理子（海洋研究開発機構）他

BE10-03（10:05-10:20）
想定東海地震震源周辺域における沈み込み帯地殻構造
○高橋　成実（海洋研究開発機構）他

BE10-04（10:20-10:35）
「ひずみ集中帯の重点的調査観測・研究」における
反射法地震探査による富山トラフ～大和海盆の地殻構造イメージング
○野　徹雄（海洋研究開発機構）他

BE10-05（10:35-10:50）
南海トラフ地震発生帯における
「ちきゅう」と「かいれい」を用いた長距離VSP探査
○真田　佳典（海洋研究開発機構）他

BE10-06（10:50-11:05）
海底圧力・地震観測に基づく日本海溝陸側斜面下のゆっくり地震
○伊藤　喜宏（東北大学）他

休憩（11:05-11:10）

S2：海洋底科学Ⅱ－伊豆小笠原・マリアナ（11:10-11:55）
座長：石塚　治（産業技術総合研究所）

BE10-07（11:10-11:25）
海洋性島弧創成期のマグマプロセスの解明－小笠原海嶺潜航調査－
○石塚　治（産業技術総合研究所）他

BE10-08（11:25-11:40）
マリアナ前弧域における蛇紋岩海山の空間分布
○横瀬　久芳（熊本大学）他

BE10-09（11:40-11:55）
マリアナ弧の火山NW Rota-1の二種の玄武岩マグマ
○田村　芳彦（海洋研究開発機構）他

昼休み（11:55-13:00）

ポスターセッション　会場：楽水会館（13:00-14:30）

休憩（14:30-14:35）

S3：北極海における総合観測航海Ⅰ（14:35-15:20）
座長：菊地　隆（海洋研究開発機構）

BE10-10（14：35-14：50）
北極海航海における大気・海氷の観測支援資料の作成と自動配信
○堀　正岳（海洋研究開発機構）他

BE10-11（14:50-15：05）
MR09-03で観測された北極海で急激に発達するポーラーローの特徴
○猪上　淳（海洋研究開発機構）他

BE10-12（15:05-15:20）
太平洋側北極海における2009年の水塊分布
○菊地　隆（海洋研究開発機構）他

S4：北極海における総合観測航海Ⅱ（15:20-16:05）
座長：西野　茂人（海洋研究開発機構）

BE10-13（15:20-15:35）
海氷融解により北極海の生物ポンプは強化するのか弱化するのか？
○西野　茂人（海洋研究開発機構）他

BE10-14（15:35-15:50）
西部北極海における原核微生物の生物量および生産速度
-陸棚から海盆域にかけた全深度分布特性-
○内宮　万里央（東京大学）他

BE10-15（15:50-16:05）
西部北極海における微生物食物網の特性
○福田　秀樹（東京大学）他

休憩（16:05-16:10）

東京海洋大学　特別セッション（16:10-16:55）
座長：今津　隼馬（東京海洋大学 理事・副学長）

BE10-特1（16:10-16:25）
東京海洋大学海洋科学部の練習船
○石丸　隆（海洋科学部 教授）

BE10-特2（16:25-16:40）
練習船汐路丸の活用から先端ナビゲートシステムへ
○庄司　るり（海洋工学部 講師）

BE10-特3（16:40-16:55）
練習船を用いた大学院教育「海洋観測・生物資源調査の実践教育の強化
－世界の海洋で活躍する乗船技術者・　研究者の養成」について
○東海　正（海洋科学部 教授）

休憩（16:55-17:00）

■特別講演　会場：講義棟 大講義室

■特別講演　（17:00-17:50）
「鯨類と超高速船の衝突回避に向けて」○加藤　秀弘（東京海洋大学海洋科学部 教授）

■挨拶他　会場：講義棟 大講義室

■海洋研究開発機構海洋工学センター長　堀田　平　　挨拶　（17:50-18:00）

■懇談会　会場：東京海洋大学 大学会館(食堂)（18:10～）【若手奨励賞表彰を含む】

■ポスターセッション　会場：楽水会館　　第1日目：2010年3月2日(火)13:00-14:30

BE10-P01. シロウリガイとシマイシロウリガイの分布と繁殖生態
○瀬尾　絵理子（東京海洋大学/海洋研究開発機構）他

BE10-P02. 深海性共生二枚貝シマイシロウリガイの血液細胞形態観察
○多米　晃裕（マリン・ワーク・ジャパン/東京海洋大学）他

BE10-P03. 共生菌のメタン酸化活性からシンカイヒバリガイの食欲を測る
－ 2つの冷湧水帯と2つの熱水活動域にて －
○平山　仙子（海洋研究開発機構）他

BE10-P04. 深海熱水環境で作動する硫黄化合物センサーの開発
○山本　正浩（海洋研究開発機構）他

BE10-P05. MARを用いた深海熱水系微生物の炭素源解析
○田中　暢（東京大学）他

BE10-P06. ゴエモンコシオリエビから発見された寄生性等脚類
エビヤドリムシ科の分類学的検討
○徐　美恵（東京大学）他

BE10-P07. 沖縄トラフ鳩間海丘熱水噴出域におけるウイルスの分布と
その単離の試み
○吉田（高島）　ゆかり（海洋研究開発機構）他

BE10-P08. 南部沖縄トラフ多良間海丘における熱水活動探査
－NT09-10Leg.2航海概要報告－
○山中　寿朗（岡山大学）他

BE10-P09. 南部沖縄トラフ多良間海丘にて確認された褐色変色域での
微生物調査
○牧田　寛子（海洋研究開発機構）他

BE10-P10. 深海における細菌由来異常塩基の生成と抑制に関する研究
○林　宏恵（茨城大学）他

BE10-P11. 静水圧とオオグチボヤMegalodicopia hiansの入水孔の
運動特性
○富田　敦美（北里大学）他

BE10-P12. 炭素・窒素安定同位体比による富山湾オオグチボヤの
栄養源の研究
○松本　恭平（富山大学）他

BE10-P13. 富山湾の海底地形とオオグチボヤ群生の生物地理（序）
○竹内　章（富山大学）他

BE10-P14. 富山湾海底で採集されたホシムシに関する2，3の知見
○笹山　雄一（金沢大学）他

BE10-P15. キヌタレガイ類の系統と深海への適応
○松本　寛人（筑波大学）他

BE10-P16. マンガンクラストに関する地球微生物学的研究
○福田　正臣（東京大学）他

BE10-P17. シロウリガイ共生系における共生関連高分子の
抗体ライブラリーの構築
○中村　欽光（海洋研究開発機構）他

BE10-P18. シロウリガイ類共生細菌のゲノム縮小進化研究のための
ナギナタシロウリガイおよび深海性大型軟質殻有孔虫
Xenophyophore sp.の日本海溝における採集
―YK09-12航海概要報告―
○丸山　正（海洋研究開発機構）他

BE10-P19. カイコウオオソコエビの消化酵素から予想される食性
－世界最深部の住人は草を食む？
○小林　英城（海洋研究開発機構）他

BE10-P20. 超深海帯生態系を窒素循環能から読み解く
○坪内　泰志（海洋研究開発機構）他

BE10-P21. サツマハオリムシの棲管に寄居するヤドカリについて
○北嶋　円（新江ノ島水族館）他

BE10-P22. 鳩間海丘で得られたゴエモンコシオリエビへの
キノミフネカサガイの付着状況
○伊藤　寿茂（新江ノ島水族館）他

BE10-P23. 海底地震計用トランスポンダの誤作動試験報告
○前川　拓也（日本海洋事業）他

BE10-P24. 「かいれい」MCSエアガンアレイ波形観測
○清水　賢（日本海洋事業）他

BE10-P25. 海底地震計用ハイドロフォンの効率的性能判定
○大西　桂介（日本海洋事業）他

BE10-P26. 海洋調査船「かいよう」における気象観測データの品質向上
○吉田　一穂（グローバルオーシャンディベロップメント）他

BE10-P27. ビームステアリング合成開口ソナー
○澤　隆雄（海洋研究開発機構）他

BE10-P28. AUVおよびディープ・トウ等を利用した精密磁気探査装置の開発
○佐柳　敬造（東海大学）他

BE10-P29. 深海性クラゲ類の飼育および展示試み
○北田　貢（新江ノ島水族館）他

BE10-P30. YK09-13インド洋の熱水噴出域に生息する生物の常圧下飼育
○根本　卓（新江ノ島水族館）他

BE10-P31. 反射法地震探査から得られた海洋微細構造の特徴
○山下　幹也（海洋研究開発機構）他

BE10-P32. CTDデータ・深海画像による富山湾の海洋構造調査
○千葉　元（富山高等専門学校）他

BE10-P33. 西部北極海における原核微生物の生物量および生産速度
－陸棚から海盆域にかけた全深度分布特性－
○内宮　万里央（東京大学）他

BE10-P34. 2009年北極海における海氷および生物地理学における
植物プランクトン群集およびサイズ変化について
○今野　進（山形大学）他

BE10-P35. 鹿児島湾若尊火口堆積層における間隙水化学組成
○平尾　真吾（九州大学）他

BE10-P36. 南東太平洋チリ沖における過去22,000年間の生物源粒子
フラックスの変動
○宮下　航（琉球大学）他

BE10-P37. MAX-DOAS 法による船上エアロゾル・ガス観測
○高島　久洋（海洋研究開発機構）他

BE10-P38. 北太平洋西部亜寒帯域における生物ポンプ能力の経年変化
○川上　創（海洋研究開発機構）

BE10-P39. 高速応答光学式センサーによる溶存酸素の高精度測定
○内田　裕（海洋研究開発機構）他

BE10-P40. MCSデータとXCPによる水平流速の微細構造観測
～KY09-08・Leg2航海報告～
○横田　華奈子（海洋研究開発機構）他

BE10-P41. 南海トラフ西端部日向灘の地震活動
○尾鼻　浩一郎（海洋研究開発機構）他

BE10-P42. KR09-15「かいれい」：「熊野海盆沈み込み帯地震断層挙動の
解明」
○金松　敏也（海洋研究開発機構）他

BE10-P43. 鹿児島湾若尊カルデラ「たぎり」周辺の微地形、浅部構造調査
について－NT08-17航海DAI-PACKマッピング－
○上嶋　正人（産業技術総合研究所）他

BE10-P44. 伊豆小笠原弧伊豆大島火山におけるマグマ長距離移動を伴う
マグマ供給システム、噴火プロセスの解明
○石塚　治（産業技術総合研究所）他

BE10-P45. 伊豆大島火山北西及び南東海域に産する火山岩の岩石学的特徴
○荻津　達（産業技術総合研究所）他

BE10-P46. 房総沖プレート収束イメージング－KR09-07航海
○三浦　誠一（海洋研究開発機構）他

BE10-P47. 日本海溝に沈み込む太平洋プレートの温度・電気伝導度構造の
調査
○山野　誠（東京大学）他

BE10-P48. 小笠原弧大町海山における蛇紋岩の変成作用
○植田　勇人（弘前大学）他

BE10-P49. トランスポンダーを用いたドレッジのリアルタイムモニタ
リングにもとづく海洋底岩石採取
○町田　嗣樹（東京大学）他

BE10-P50. 海洋性島弧形成初期における花崗岩質地殻の発見とその形成
プロセス
○谷　健一郎（海洋研究開発機構）他

BE10-P51. 地球物理データに基づくチリ沖三重会合点の構造と
テクトニクス
○土井　明日加（琉球大学）他

BE10-P52. 北西太平洋における構造探査観測
－太平洋プレートの地殻・上部マントル構造－
○藤江　剛（海洋研究開発機構）他

BE10-P53. 「しんかい6500」を使った番組制作のための潜航
～飛び出せ！科学くんスペシャル～
○田代　省三（海洋研究開発機構）他

BE10-P54. 海洋調査船を用いたアウトリーチ活動 ―第11回全国児童
「ハガキにかこう海洋の夢コンテスト」体験乗船―
○田代　省三（海洋研究開発機構）他

BE10-P55. サイエンスチャンネルなど映像素材撮影用潜航
○鈴木　晋一（海洋研究開発機構）他

BE10-P56. 海洋と地球の学校
○藤岡　換太郎（海洋研究開発機構）他

BE10-P57. 相模湾におけるKO-OHO-0航海のその後
－アウトリーチ活動の成果－
○藤岡　換太郎（海洋研究開発機構）他

BE10-P58. 日本海東縁部・佐渡島北西沖および佐渡海峡の地震波速度構造
○佐藤　壮（海洋研究開発機構）他

BE10-P59. コア採取方法が磁化率異方性に与える影響：
オホーツク海中央部の海底堆積物を用いたグラビティ・
コア試料とピストン・コア試料の比較
○下野　貴也（筑波大学）他

Blue Earth '10　プログラム

第2日目：2010年3月3日（水）
会場：東京海洋大学 品川キャンパス　　主催：独立行政法人 海洋研究開発機構　共催：国立大学法人 東京海洋大学

■口頭発表　会場：講義棟 大講義室　　第2日目：2010年3月3日(水)09:30-18:05

S5：海洋・気候（09:30-10:45）
座長：山田　広幸（海洋研究開発機構）

BE10-16（09:30-09:45）
夏期の熱帯西部太平洋における季節内変動の観測研究
○山田　広幸（海洋研究開発機構）他

BE10-17（09:45-10:00）
パプアニューギニア沖沿岸湧昇とビスマルク海の表層流速場
○長谷川　拓也（海洋研究開発機構）他

BE10-18（10:00-10:15）
冬季混合層深度と中規模渦の関係
○纐纈　慎也（海洋研究開発機構）他

BE10-19（10:15-10:30）
オホーツク海における浮遊性有孔虫N. pachydermaを用いた
４つの温暖期（完新世，MIS5e，9，11）の表層環境変動の復元
○佐藤　愛希子（東京大学）他

BE10-20（10:30-10:45）
チリ沖における古海洋環境復元研究
ー「みらい」MR08-06とBEAGLE2003 ー
○原田　尚美（海洋研究開発機構）他

S6：物質循環（10:45-11:30）
座長：村田　昌彦（海洋研究開発機構）

BE10-21（10:45-11:00）
有孔虫の安定同位体比と微量元素にもとづく過去3万年間の
オホーツク海南部の中層環境変動
○木元　克典（海洋研究開発機構）他

BE10-22（11:00-11:15）
南北太平洋における大気エアロゾル中の窒素・リン化合物の分布
○鄭　進永（東京大学）他

BE10-23（11:15-11:30）
単一微粒子質量分析法(ATOFMS)による南北太平洋における
大気エアロゾルの化学組成と地理的分布
○古谷　浩志（東京大学）他

S7：基盤技術開発（11:30-12:15）
座長：大澤　弘敬（海洋研究開発機構）

BE10-24（11:30-11:45）
音響ビデオカメラによる熱水プルーム観測手法の開発
○望月　将志（東京大学）他

BE10-25（11:45-12:00）
アラウンドビューシステムによる周辺空間配置解析と
オオグチボヤの長時間観察
○三輪　哲也（海洋研究開発機構）他

BE10-26（12:00-12:15）
深度1,000mにおける80kHz帯の吸収減衰係数の計測（KR09-E02）
○越智　寛（海洋研究開発機構）他

昼休み（12:15-13:00）

ポスターセッション　会場：楽水会館（13:00-14:30）

休憩（14:30-14:35）

S8：海洋底科学Ⅲ－資源・テクトニクス（14:35-15:20）
座長：中西　正男（千葉大学）

BE10-27（14:35-14:50）
シャツキーライズ形成前の太平洋-イザナギ-ファラオン
三重会合点の再配列:YK08-09航海における地球物理学観測
○中西　正男（千葉大学）他

BE10-28（14:50-15:05）
奥尻島西方に"西奥尻海嶺"の提唱：KY09-05／NT08-09より
○松本　良（東京大学）他

BE10-29（15:05-15:20）
拓洋第5海山を覆うマンガンクラスト：
ー巨大低品位レアメタル海底資源の詳細産状と品位分布ー
○浦辺　徹郎（東京大学）他

S9：海洋底科学Ⅳ－熱水（15:20-16:05）
座長：沖野　郷子（東京大学）

BE10-30（15:20-15:35）
YK09-13 Leg 1航海報告ーしんかい6500による中央インド洋海嶺
ロドリゲスセグメント潜航結果
○玉木　賢策（東京大学）他

BE10-31（15:35-15:50）
インド洋中央海嶺Kairei熱水フィールドの地質学的背景を探る
○中村　謙太郎（海洋研究開発機構）他

BE10-32（15:50-16:05）
AUVうらしまによる南部マリアナトラフ熱水域総合調査
○沖野　郷子（東京大学）他

S10：海洋生態系Ⅰ（16:05-17:05）
座長：加藤　千明（海洋研究開発機構）、三宅　裕志（北里大学）

BE10-33（16:05-16:20）
NT08-24 航海の概要報告：シロウリガイレクチンの精製を中心に
○神保　充（北里大学）他

BE10-34（16:20-16:35）
シンカイヒバリガイ類と共生メタン酸化型細菌の産生脂質から
閉じられた食物連鎖系が証明された
○齋藤　洋昭（中央水産研究所）

BE10-35（16:35-16:50）
シロウリガイ類における炭酸脱水酵素の活性測定と局在解析
○本郷　悠貴（東京海洋大学/海洋研究開発機構）他

BE10-36（16:50-17:05）
ヒラノマクラの共生現象に関与する発現遺伝子の探索および
遺伝子解析
○河戸　勝（海洋研究開発機構）他

S11：海洋生態系Ⅱ（17:05-18:05）
座長：加藤　千明（海洋研究開発機構）、三宅　裕志（北里大学）

BE10-37（17:05-17:20）
Dispersal and colonization at deep-sea whale carcasses
○Florence Pradillon（海洋研究開発機構）他

BE10-38（17:20-17:35）
北西太平洋深海底における有孔虫ゼノフィオフォアの分布と
遺伝的多様性
○土屋　正史（海洋研究開発機構）他

BE10-39（17:35-17:50）
深海からの好圧性生分解性プラスチック分解菌の分離とその性状
○関口　峻允（東京海洋大学）他

BE10-40（17:50-18:05）
南チャモロ海山海底下蛇紋岩化流体に見える生命圏と非生命圏の
境界
○高井　研（海洋研究開発機構）他

■挨拶他　会場：講義棟 大講義室

■海洋研究開発機構理事　今脇　資郎　　挨拶　（18:05-18:10）【若手奨励賞表彰を含む】

■ポスターセッション　会場：楽水会館　　第2日目：2010年3月3日(水)13:00-14:30

BE10-P60. 2008年夏季の西部北極海におけるカイアシ類群集の水平分布
○松野　孝平（北海道大学）他

BE10-P61. アカツキプロジェクト
- ROVによる掘削孔内設置型サンプリングシステムの開発 -
○宮崎　淳一（海洋研究開発機構）他

BE10-P62. NT09-05 Leg2 日光海山潜航調査概要
「熱依存性から見た熱水性甲殻類の生活史の研究」
○三宅　裕志（北里大学/海洋研究開発機構）他

BE10-P63. ユノハナガニはなぜ熱に集まるのか？
○池田　周平（北里大学）他

BE10-P64. 鯨骨産サツマハオリムシの飼育下における繁殖
○篠崎　鮎太（広島大学/海洋研究開発機構）他

BE10-P65. 拓洋第５海山における海洋性マンガンクラストの
微生物群集解析
○仁田原　翔太（東京薬科大学）他

BE10-P66. シチョウシンカイヒバリガイレクチンの精製
○神保　充（北里大学）他

BE10-P67. NT09-05 Leg2 日光海山・明神海丘航海概要：熱水噴出域固有
生物の硫化水素への適応機構および熱依存性に関する研究
○井上　広滋（東京大学）他

BE10-P68. 熱水・湧水および鯨骨域に出現する大型甲殻類の遺伝的多様性
○土田　真二（海洋研究開発機構）他

BE10-P69. BrdU を用いた深海熱水噴出域における化学合成微生物の増殖活性
○野村　直子（東京大学）他

BE10-P70. 鯨骨及び沈木に付着する二枚貝類の貝殻微細構造比較
○伊藤　希（石巻専修大学）他

BE10-P71. ホネクイハナムシ類共生細菌の多様性に関する研究
○梅津　裕一（北里大学/海洋研究開発機構）他

BE10-P72. ホネクイハナムシ類からの共生細菌の分離
○宮崎　征行（海洋研究開発機構）他

BE10-P73. 深海魚類の再加圧飼育による延命効果
○小山　純弘（海洋研究開発機構）他

BE10-P74. 海洋環境における高度好塩古細菌の存在
○井上　健太郎（東京大学）他

BE10-P75. 日本海隠岐堆における深海生物群集と物質循環への貢献
○野牧　秀隆（海洋研究開発機構）他

BE10-P76. 巻き貝共生菌に近縁な硫黄酸化細菌の単離とそのゲノム解析
○布浦　拓郎（海洋研究開発機構）他

BE10-P77. 化学合成共生システムの進化における生物起源還元環境の役割の
解明ーYK09-04, NT09-10航海概要ー
○藤原　義弘（海洋研究開発機構）他

BE10-P78. ヒラノマクラ鰓上皮細胞の貪食能力に関する研究
○永堀　淳志（広島大学）他

BE10-P79. 鯨骨に生息する多毛類の繁殖生態に関する研究
○西村　明日香（鹿児島大学）他

BE10-P80. 深海からの好圧性生分解性プラスチック分解菌の分離とその性状
○関口　峻允（東京海洋大学）他

BE10-P81. 新規好圧性生分解性プラスチック分解菌からの酵素の圧力適応
○藤岡　明日香（東京海洋大学）他

BE10-P82. シロウリガイ類における炭酸脱水酵素の活性測定と局在解析
○本郷　悠貴（東京海洋大学/海洋研究開発機構）他

BE10-P83. 熱水鉱床近傍における海水中pH現場測定
○本多　牧生（海洋研究開発機構）他

BE10-P84. インターネット通信衛星を用いた海中探査機映像による
遠隔ステレオ視計測
○石橋　正二郎（海洋研究開発機構）他

BE10-P85. 海洋の沈降粒子（マリンスノー）の光学的観測手法に関する研究
○二本木　優香（北里大学）他

BE10-P86. 小型海洋表層二酸化炭素測定装置の開発Ⅲ
○中野　善之（海洋研究開発機構）他

BE10-P87. 現場型pH/pCO2センサによる西太平洋赤道海域での鉛直連続計測
○下島　公紀（電力中央研究所）

BE10-P88. 深海環境からの有用好圧性細菌の探索とその性質
○加藤　千明（海洋研究開発機構）他

BE10-P89. 三陸沖深海におけるゴミの分布と生物によるゴミの利用
○柴田　晴佳（北里大学）他

BE10-P90. WHP P21測線(17° S)の再観測で検出された周極深層水中の
クロロフルオロカーボン類の濃度増加について（速報）
○佐々木　建一（海洋研究開発機構）他

BE10-P91. MR09-01航海概要報告
○村田　昌彦（海洋研究開発機構）他

BE10-P92. オープンパス型とクローズドパス型の渦相関法によるCO2の
海面交換量の系統的差異と密度変動補正の影響
○近藤　文義（東京大学）他

BE10-P93. MR10-01物質循環航海概要
○松本　和彦（海洋研究開発機構）他

BE10-P94. 拓洋第5海山マンガンクラストの組織と化学組成
○得丸　絢加（東京大学）他

BE10-P95. 太平洋WOCE-P01･P03･P21におけるメタンの挙動
○今井　翔（酪農学園大学）他

BE10-P96. 北極海盆における溶存態・粒子態有機物の起源と物質輸送に関する
研究　1. 真正細菌および古細菌群集の分布構造
○秋山　昇平（筑波大学）他

BE10-P97. みらいMR09-03北極航海の古環境研究の概要報告
○大串　健一（神戸大学）他

BE10-P98. 黒潮続流域における海面係留ブイおよび船舶による海洋観測
○市川　洋（海洋研究開発機構）他

BE10-P99. カソードルミネッセンスを用いた東アジア縁辺海・海底堆積物中に
含まれる石英の供給源推定
○長島　佳菜（海洋研究開発機構）他

BE10-P100. Tephrostratigraphy in the Late Quaternary Sediments of the
Eastern Margin of Japan Sea
○Antonio Fernando Menezes Freire（東京大学）他

BE10-P101. 鉄・マンガンクラストの生成環境と成長プロセス：
ハイパードルフィンによる詳細マッピングと微細スケール解析
○臼井　朗（高知大学）他

BE10-P102. AUV搭載マルチビーム測深機を利用した南部マリアナトラフ
熱水域の高分解能地形探査
○沖野　郷子（東京大学）他

BE10-P103. AUVうらしま搭載磁力計による南部マリアナトラフ熱水域の
磁気異常マッピング
○望月　伸竜（熊本大学）他

BE10-P104. マリアナ弧火山East Diamante-Zealandia Bank周辺
（北緯16度～17度）の調査（NT09-08）：
XRFによる全岩組成分析の結果
○布川　章子（海洋研究開発機構）他

BE10-P105. AUV「うらしま」を用いた熱水プルーム探査
○野口　拓郎（高知大学）他

BE10-P106. AUVうらしまサイドスキャンソナーとしんかい6500映像から見る
南部マリアナトラフ熱水サイト周辺の地質構造
○浅田　美穂（海洋研究開発機構）他

BE10-P107. 宮古島東方重宝曽根における沈降史の解明に向けて
○荒井　晃作（産業技術総合研究所）他

BE10-P108. JAMSTEC船等による測深調査に基づく沖縄トラフ～
西フィリピン海盆の精密海底地形
○松本　剛（琉球大学）他

BE10-P109. 反射法地震探査（YK09-13）による中央インド洋海嶺
KAIREI熱水フィールド周辺の岩層分布の推定
○辻　健（京都大学）他

BE10-P110. 上越沖ガスハイドレート胚胎域および鳥ヶ首海脚周辺における
地形的特徴
○弘松　峰男（東京大学）他

BE10-P111. 上越沖メタン活動域における微地形、浅部構造調査について
（その3）ーNT0916航海DAI-PACKマッピングー
○上嶋　正人（産業技術総合研究所）他

BE10-P112. 「JAMSTEC観測航海データサイト」から公開する観測データの
品質管理
○畑山　隆紀（海洋研究開発機構）他

BE10-P113. JAMSTEC船舶で取得されたサンプル公開サイトについて
○佐川　優子（海洋研究開発機構）他

BE10-P114. JAMSTEC船舶にて取得されたデータの公開サイトについて
～ データ利用促進への取り組み紹介 ～
○南澤　智美（海洋研究開発機構）他

BE10-P115. しんかい6500とかいこう7000Ⅱによって明らかにされた
南海付加体の内部構造と海底地すべり
○川村　喜一郎（深田地質研究所）他

BE10-P116. KY0909 Leg1 スマトラ北西沖海底地形調査速報
○平田　賢治（気象庁/海洋研究開発機構）他

BE10-P117. 海洋地球調査船「みらい」で得られた太平洋完全横断地磁気
三成分データの解析
○喜瀬　慎一郎（琉球大学）他

BE10-P118. JAMSTECコア試料キュレーションの展開
○富山　隆將（海洋研究開発機構）他